

## 第2回試行的研修アンケート結果

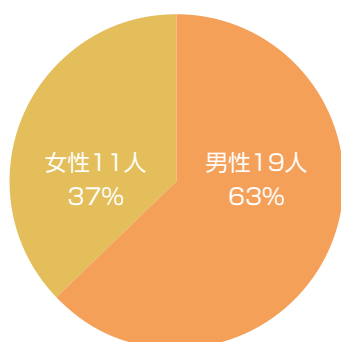
### 1. アンケートの概要

東京農工大学先端産学連携研究推進センターが平成27年2月5日に実施した「中・上級研究マネジメント人材養成プログラム 第2回試行的研修」では、参加者に対しアンケートを実施した。参加者30人全員から回答を得た。回答は無記名で、所属の記載もない。

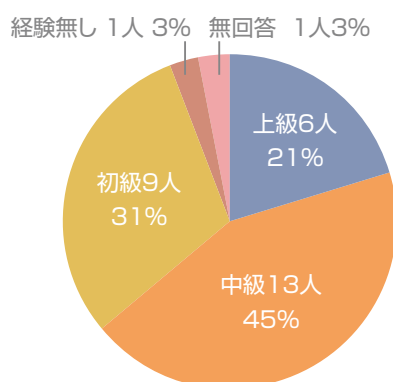
### 2. アンケート回答者数と属性

#### I. 属性について

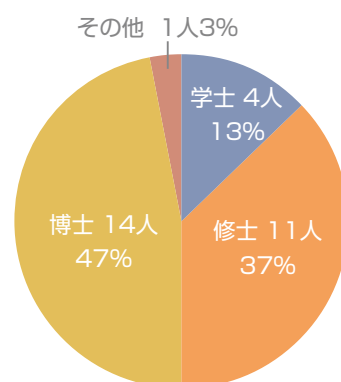
参加者の性別 (回答30人)



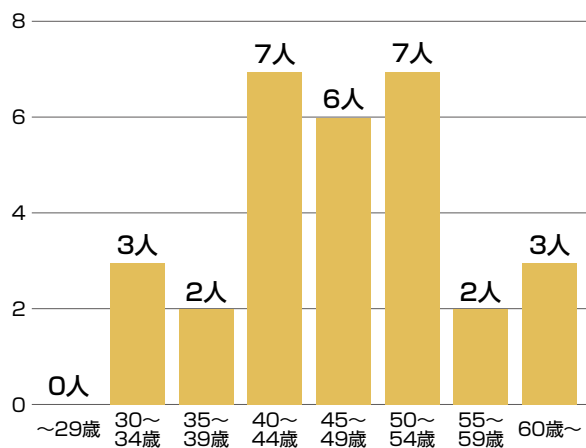
URAの業務経験 (回答30人)



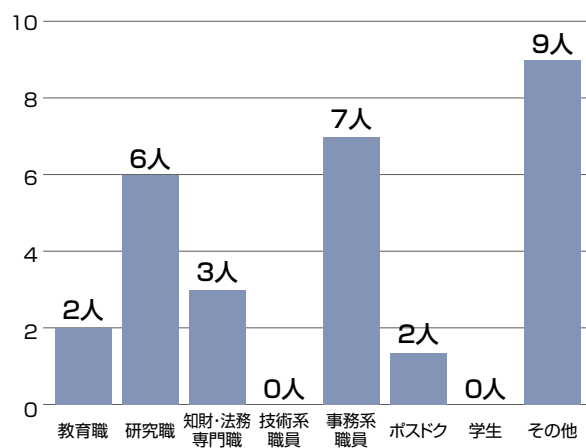
最終学位 (回答30人)



参加者の年齢 (回答30人)



参加者の前職 (回答30人)

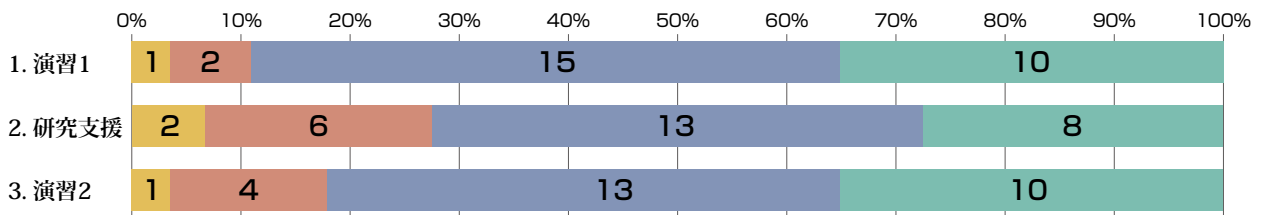


## II. 本セッションの内容について

### セッション内容の満足度 (回答30人)

5段階で評価してください。該当する数字に○をつけてください。

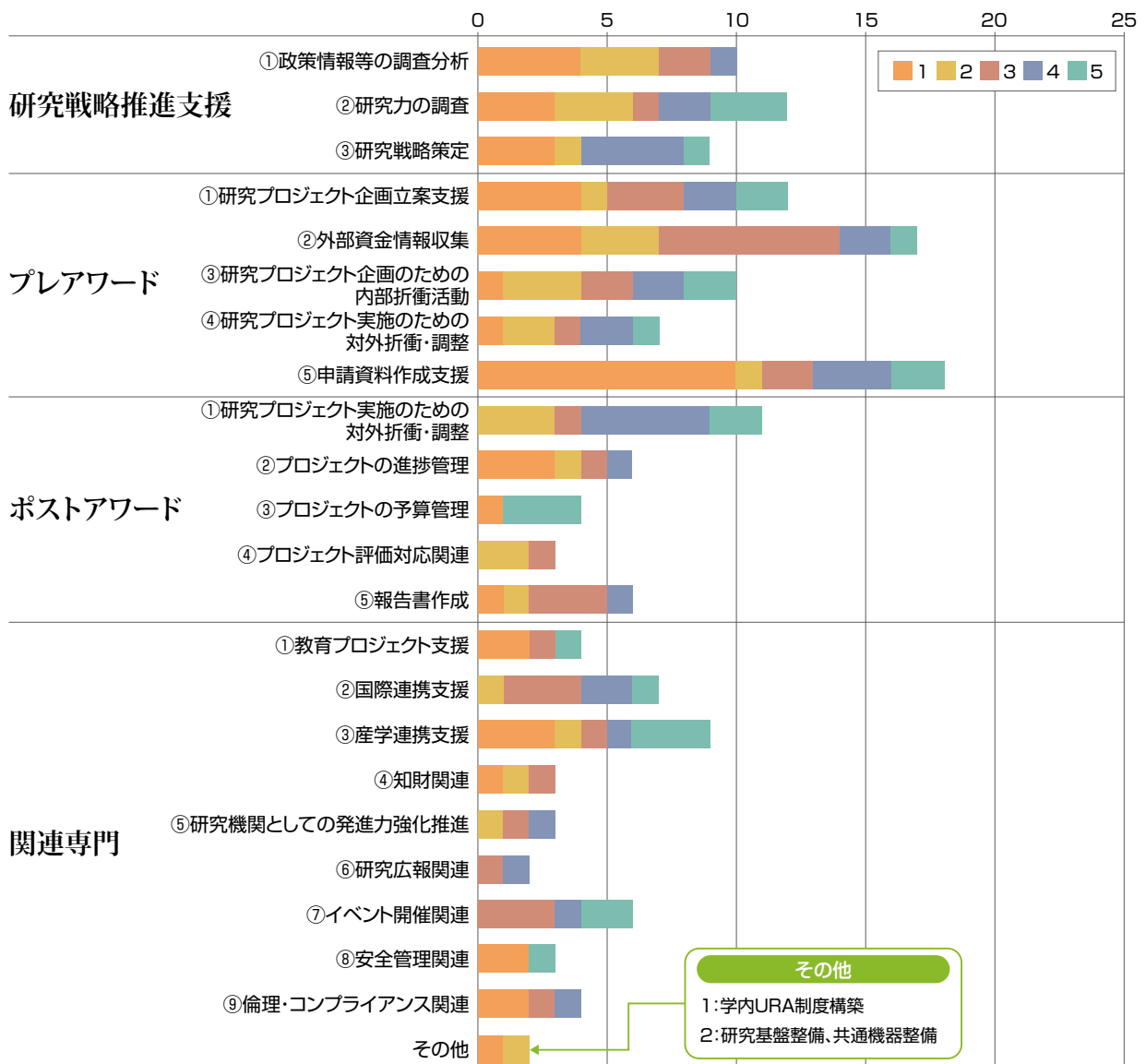
役立つ・参考になる 1 2 3 4 5 なかった



## III. 皆様のスキルと希望について

Q1: 現在担当している業務でエフォートの大きい順に、5つご記入ください。

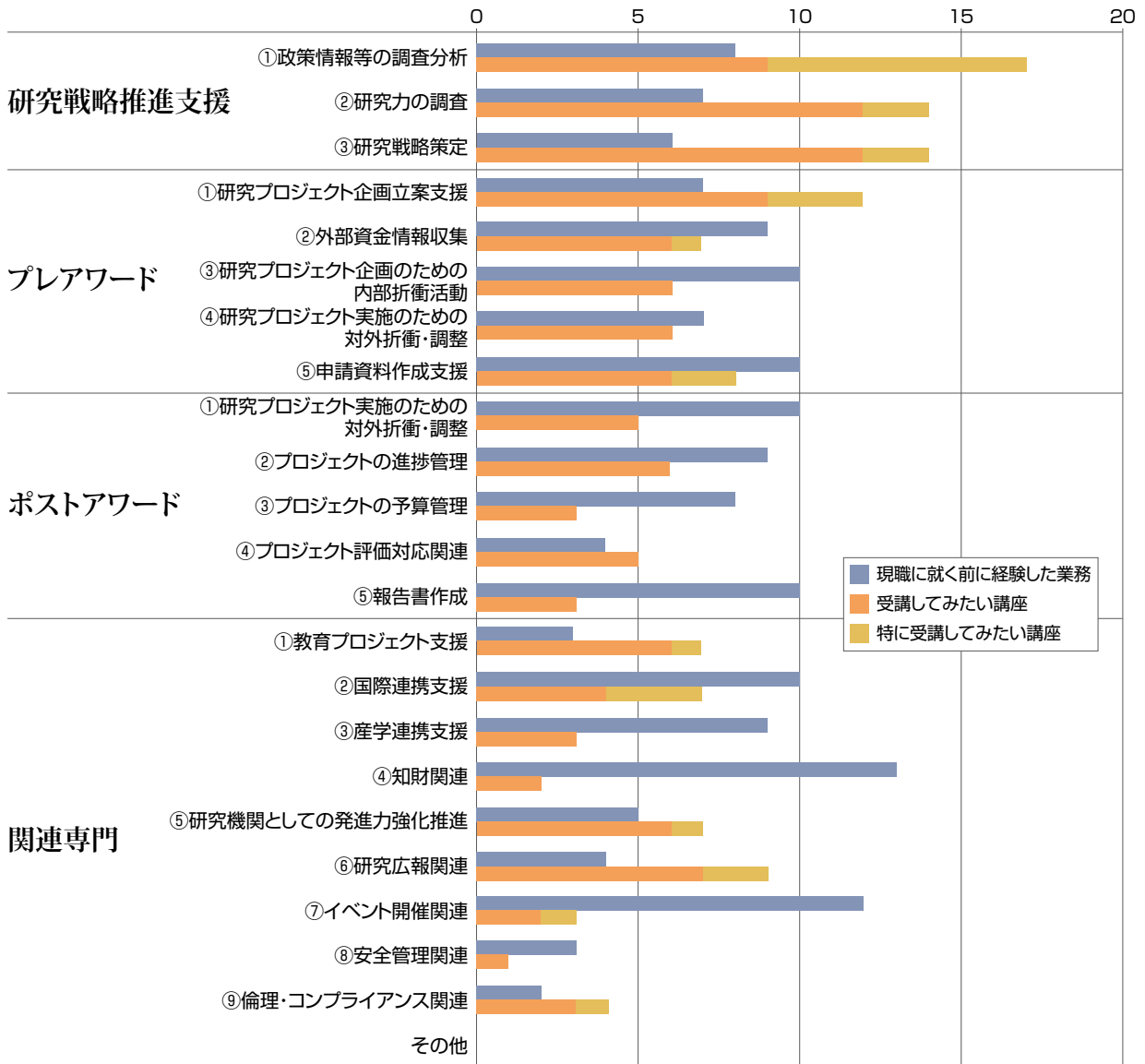
### 現在担当している業務のエフォート順1~5位 (回答30人)



Q2:現在の職に就く前に経験した業務があれば、該当業務をご記入ください。

Q3:今後、教育講座(講義・演習)等あった場合に受講したい業務があれば、特に受講したい業務、受講したい業務をご記入ください。(Q2、Q3とも複数回答可)

経験業務&受講したい業務 (回答30人)



#### IV. 自由記述

- ・密度の濃い研修でした。もう少し演習の時間があるとよかったです(やや議論不足でまとまらず)
- ・研究力強化という観点からの戦略策定のための研修をしようという心意気はすばらしいと思う。
- ・他大学のURAとのネットワーク作りの機会としても、グループ討論中心の内容は貴重であると思う。
- ・各演習を一日かけるボリュームで掘り下げると更によいと思います。
- ・強み弱み分析はありふれており、そこからシニアURAとして組織の動かし方、学内折衝等、議論できればよかったです。
- ・耳学問ではなく、自分で考え議論するスタイルは良いと思います。ただし、演習のねらい(何を身につけさせたいの

- かなど)が見えなかったのが、そこを明確化されてはいいかかと思っています。
- ・演習1について、どのようなプロセスで検討すべきかと概観できればよかったですと思いました。
- ・中上級ということでしたが、初級の位置が把握でき、非常によかったです。中規模大学では、URA、CDと連携、協働して活動していかないといけないと思った。
- ・研究力とか研究戦略の議論を行うときに、どうしても理系のイメージで考えがちであるが、人文・社会学系についてもどのように対応すべきなのか併せて考える必要がある。成果についての数値データの取得が難しい点をどのように克服するのか?